

## 鉄道車両を支える技術集団 作業工程のデジタル化による技術継承と人材確保

鉄道車両の整備・改造事業を主軸に、障がい者支援事業やビルメンテナンス事業を展開している。鉄道車両整備・改造事業では、長年培ってきた高い技術力を通して、多くの人々が利用する鉄道車両の安心・安全に寄与。障がい者支援事業では、就職を希望する障がい者と企業をマッチングさせる有料職業紹介事業のほか、企業向けコンサルティングやスポーツ推進事業を展開している。ビルメンテナンス事業では、技術力の高いスタッフと連携しながら障がい者雇用を促進。公共性の高い事業を多角的に展開している。

所在地	東京都千代田区九段北1-3-2 大橋ビル5階	設立	1968年
電話/FAX	03-5213-4728 / 03-5213-4729	資本金	1,000万円
URL	<a href="http://horie-sharyo.co.jp/">http://horie-sharyo.co.jp/</a>	従業員数	64人
代表者	代表取締役 堀江 泰		



### 50年以上、鉄道車両を支える技術を提供

50年以上にわたり、鉄道事業者の保有する鉄道車両を支える技術を提供している。今まで培ってきた高いレベルの技術で、常に良質な車両を提供。主に車両の整備事業と改造事業を行う。特に、首都圏で使用していた車両を、地方に譲渡する際の車両改造の実績と専門性の高さに自信を持つ。また、専門性の高い協力会社とアライアンスを組むことで、車両の整備・改造において「できない仕事はない」という優位性を確立。鉄道事業者から新規の大規模工事をワンストップで受注するなど、新ビジネスへ挑戦している。



長年蓄積した鉄道車両を支える技術

### 最新デバイスを駆使した教育プログラムによる技術継承

世界でも注目されている最新デバイスであるマイクロソフトのホロレンズを使って、作業工程のデジタル化に挑戦。業界で初めて、車両整備の作業工程をデジタル化した「デジタルマニュアル」を作成した。ホロレンズの導入により、場所や人に捕らわれず作業を学ぶことができるようになり、業務効率が大幅に向上。技術継承を的確に行えるようになり、車両整備技術の精度の維持・向上につながっている。今後は、社員の作業内容を遠隔で確認・指示したり、作業内容の評価などでも活用していく予定である。



ホロレンズを用いたデジタルマニュアル

### 公共性の高い事業という強みを活かした社会貢献活動

公共性の高い事業を展開する同社の信頼・強みを活かし、積極的に社会貢献活動に取り組んでいる。北海道胆振東部地震時は、被災地から必要な物の情報を収集し、支援物資を提供した。現在の新型コロナウイルスの状況下では、リモートに移行できない現場社員へのマスクや消毒液の配布とともに、物資が不足している近隣の幼稚園や医療機関へマスクや消毒液を寄付している。また、新規事業として障がい者支援事業を立ちあげ、障がい者の働く場を確保するため、ビルメンテナンス会社を買収。社会貢献を意識した事業運営を行う。



障がい者支援事業による社会貢献